

R5年農事メモ（第7号）

令和5年10月6日
白山石川営農推進協議会
石川県農業共済組合
松任市農業協同組合

暑い夏に負けない米づくりは土づくりから！

1 秋の土づくり対策

(1) 秋起こし

- ・ワラや根・株の分解を促進させるため、収穫後の気温が高いうち（10月中旬頃まで）に速やかに耕起しましょう。
- ・耕起した後は、ほ場に水が溜まらないよう排水に努めましょう。
（空気が土に入り、微生物が活発に働きます）

(2) 土づくり資材の施用

- ・土壤分析の結果に基づき、不足している養分を土づくり資材で補うことが重要です。営農のてびきの10月のページ（p52～p53）を参考に、土壤の栄養状態に応じた土づくり資材を施用しましょう。
- ・当地区はケイ酸含量が少ない圃場が多く、灌がい水に含まれるケイ酸含量も少ないため、ケイ酸質資材の施用が必要な場合があります。

○ケイ酸の効果

① 稲体の温度上昇を抑制

⇒稲体の温度が高いと乳白粒や白未熟粒の発生を助長します。

ケイ酸の施用により気孔からの蒸散が促進され、稲体の温度上昇を抑制します。

② 葉いもち・虫害に強くなる

⇒ケイ酸が葉の表皮組織に蓄積することで、病害虫に対する抵抗力が向上します。

③ 倒伏耐性が向上する

(3) 深耕による作土深15cm以上を確保

- ・作土が深くなると根域が拡がり天候の影響を受けにくく、生育が安定します！
- ・トラクターの速度を落とし、ロータリーの回転数を遅くしましょう。
- ・近年は作業機も大きく、作業速度も速いため作土が浅くなる傾向です。

2 大発生したほ場のヒエ対策

○大発生したヒエを収穫時まで除去できず、たくさん種を落としてしまったほ場は以下の対策を参考にしてください。

クロレートS【医薬用外劇物】

作物名	適用場所	適用雑草	使用時期	使用量	総使用回数	使用方法
水稻 (水稻刈取跡)	水稻刈取跡	一年生雑草 及び多年生イ ネ科雑草	水稻刈取後 [秋期雑草生育 期]	20～25 kg/10a	本剤 - 塩素酸塩剤 -	水稻刈取跡に 全面土壌散 布

○注意事項

- ①一年生雑草および多年生イネ科雑草防除に使用する場合は、水稻刈取後（年内中）、秋期雑草生育期に使用しましょう。
- ②排水良好な一毛作田で使用し、散布前に落水し、全面に均一に散布してください。
- ③散布後2～3週間は耕起しないことで、高い効果が期待できます。

ブリグロックスL【医薬用外毒物】

作物名	適用雑草	使用時期	使用量	希釈水量	総使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑 草	秋期稲刈取後又は 春期水田耕起1ヶ月 前から直前まで	800～ 1000ml/10a	100～ 150L	1回	雑草茎葉散 布

○薬剤が直接イネ科雑草種子に付着することで種子の発芽を抑制します。

3 畦畔の帰化アサガオ類について

- ・畦畔などで散見される帰化アサガオ類は、大豆ほ場に入ると大豆に絡みつき除去が困難な植物です。
- ・水稻の畦畔であっても、帰化アサガオ類を見かけたら、非選択性茎葉処理除草剤を散布しましょう。
- ・開花中（結実前）に除草剤を散布しましょう。



マルバルコウ



ホシアサガオ